

平成27年第8回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成27年8月20日（木）午後1時30分～午後2時50分

2 場 所 沼津市立体育館 2階 研修室

3 日 程

(1) 会議録署名人の指名（細沼委員 土屋委員）

(2) 前回会議録の承認（細沼委員 三好委員）

(3) 議 案

議第27号 平成26年度 沼津市教育委員会事務点検・評価について

(4) 協 議

協議第7号 沼津市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について

協議第8号 平成26年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定について

(5) 報 告

1) 第4回静岡県東部ふれあい体験塾の実施報告について

2) 「ビブリオバトル中高生大会in沼津2015」の開催について

3) 高尾山古墳保存と都市計画道路（沼津南一色線）整備の両立に関する協議会
について

(6) その他

なし

4 出席者等

委員長 久松但、委員長職務代理者 細沼早希子、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、
教育長 工藤達朗、教育次長 井原正利、教育指導監兼学校教育課長 大川淳、
教育企画室長 真野正実、学校管理課長 山本貴史、教職員研修センター所長 望月まゆみ、
生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら舟山所長 中村朗、青少年教育センター所長
相磯幸代、スポーツ振興課長兼市民体育館長兼勤労者体育センター所長 原靖、市立沼津高等学校事務長
杉山善英、調整担当 新井寿明、文化振興課長補佐 山内良太、子育て支援課長 濱村信之、
教育企画室指導主事 本杉淳、教育企画室主事 石渡輔、教育企画室主事 和泉百映

5 会 議

久松委員長が、午後1時30分開会を宣言する。

久松委員長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人2人。

久松委員長より、会議録署名人に細沼委員、土屋委員を指名する。

6 教育長挨拶

改めましてこんにちは。

最近、少しずつ涼しくなってきたと感じております。雨が続けていますが、みなさんお忙しい中、ありがとうございます。

報告として、ノーベル化学賞を青色ダイオードで受賞された名古屋大学の天野教授の講演を聞いてきました。その後、食事を一緒にさせていただいたのですが、その講演内容と、天野教授のお人柄を少し、お話し申し上げます。

非常に気さくな方で、会場に見えたときも、リュックサックを背負って、ウエストバックをしておられ、講演もリュックサックを置いたままでいいお話をしてくださいました。非常に穏やかで、常に笑みを浮かべてお話され、非常に好感が持てる方でした。

私も、1対1でお話させていただきましたが、改めて静岡県が生んだノーベル賞受賞者として非常に素晴らしい方と感じました。講演の内容ですが、要点をまとめてお話ししますと、教授の小学生のころから大学までの様子をお話してくださいました。小学校時代は、一言でいうと、殆ど勉強をせずに本をたくさん読んだ時代だったと話しておりました。特にシャーロックホームズや、江戸川乱歩関係の本をひたすら読みあさったそうです。中学校時代は、音楽にはまり、小説も星新一の本も読んでいたものの、短波ラジオを購入し、カーペンターズなどを短波で英語で聞いていたようです。今思えばその時英語の音楽をダイレクトに聞いたことが、発音の問題では耳も慣れ、以後非常に良かったと考えているとのことでした。中学時代は、もっぱら音楽、短波ラジオ、アマチュア無線をやっていたため、海外に対する感心が非常に高くなったとのことのお話でした。高校生になると、数学に興味を持つようになったとのことでした。それまでは、それほどではなかったようですが、論理的に考えて行くと必ず解けるといふ数学の面白さに夢中になり、このころから勉強が好きになり、高校2・3年生で学ぶ数学が好きになったとのことのお話でした。このころ読んだ本は、ご本人も難解だとおっしゃっていましたが、小林秀雄、ドストエフスキーの本を読み、大学は名古屋大学に行かれました。数学に夢中になり、当時大学2年生で、量子力学にチャレンジされ、量子力学は数学の原点中の原点であり、これが非常に役に立ったとのことでした。その時の卒業研究が、青色ダイオードLEDであったとのことのお話でした。天野教授がお話してくださいした内容は、相対的に自主性、自ら考え自ら動くことの大切さ、熱中力が大事であるということです。熱中力とは、熱中できる力と熱中になれる力を、併せ持つ力を言い、いろんなことに対して集中することである集中力とは違い、熱中力とは、好きなことに対して徹底的に熱中することです。確かに数学も、高校2年生の時に3年生の学習内容に取り組み、大学では数学の塊のような量子力学に没頭するなどというお話をしてくださいました。この講演は高校生を対象としたお話だったので、余計に、ちょうど多感の時の出来事をお話してくださいしたのだと思います。

改めて、熱中力、熱中できる力、熱中になれる力、好きなことはとことんやるという意味合いのお話で、全ての話の中に一貫していることは、本を好きになることだと私は思いました。非常に良いお話と、自然科学者であり人との対応も構えることなく非常に自然であるとの感じを受けました。

<議 案>

議第27号 平成26年度 沼津市教育委員会事務点検・評価について

(教育企画室長 資料に基づき説明)

久松委員長 それでは、説明が終わったが、本件に対する、ご意見、ご質問等はいかがか。

三好委員 最近いろんな会議を行っているが、総合教育会議等を行うことにより、具体的なことがこの中に盛り込まれてきているので、とても良いと思う。事務点検評価は何年前から始まったのか。

- 教育長 法改正に伴い平成20年ころから始まった。
- 三好委員 事務点検評価が始まった頃は、このようなことが必要ななど感じたことがあったが、事務局として日常の業務に取り組むうえで、検討することが、私は非常にプラスに働いている気がする。この事務評価は、教育委員会だけが行っていることなのか。
- 教育企画室長 はい。平成19年度分から行っているが、教育委員会からのご意見をいただくとともに、事務点検評価委員の皆様、外部の有識者の方からご意見をいただき、現在教育委員会が行っている事業が、外から見て必ずしも本当に良い方向に進んでいるのかなどの見極めが難しい中で、多くの皆様の目から見ていただいて、教育委員会の事業の評価はどうか、今後進んで行くべき方向性を含めた中で、多種多様なご意見をいただくことは、大変重要であると感じており、意義のあるものと考えている。
- 三好委員 先日の総合教育会議での支援員の話など、市長部局の支援は経済的な支援を必要とすることなので、着実に具体的に取り組んでいくことができると良いと感じる。
- 久松委員長 今まで、ホームページに載せて、何か意見等があったことがあるのか。
- 教育企画室長 特にはない。
- 細沼委員 私も、当初は自分で点検して評価をしていくことは、客観的にできるものなのかと感じていたが、事務点検評価委員会があり、外部の委員の方が見て、自己点検評価が適正であるかを含めて、今後どうあるべきか助言していただけるものであるとのことだが、3名の委員の方は、ずっと同じなのか。
- 教育長 角替先生と渡邊先生の2名は同じであるが、落合先生は変わっている。
- 細沼委員 沼津市教育関係団体事務局となっているが、教育関係団体とは具体的にはどのような団体のことを言うのか。
- 教育長 沼津市教育関係団体とは、市PTA連絡協議会や、校長OB会、校長会など、教育7団体と言われるいろんな団体をまとめている団体。沼津市教育会館の中に事務局がある。
- 事務点検評価委員の人選をするに当たり、角替先生は、まさに大所高所からご意見をいただくことができる、大学の学長や教授をやってこられてた方で、渡邊先生は、沼津市の教育委員を12年やっていただき教育委員会全体をよくご存じの方で、落合先生は、学校の現場の様子がよくわかる方で、バランスをとって、3人の方をお願いをしている。
- これは、法律で、毎年自己点検評価を行うこととなっており、手前味噌にならないように外部の有識者の意見をいただきながら行うようになっている。実際には、事務局の自己評価が厳しく、評価委員の先生方からは、教育委員会は良くやっているのでもう少し評価を良くしても良いと言われる部分もあり、応援をいただいている。
- 土屋委員 この、評価委員会は2回行うのか。
- 教育長 2回行う。角替先生、自らこの全体評価を書いてくださっており、事務局が書いているのではなく、角替先生が全体を見てくださり、書いてくださって

いる。

久松委員長 それでは、ご意見も付きましたので、お諮りする。

議第27号について、提案どおり可決することで、ご異議はいかがか。

各委員 異議なし。

久松委員長 異議なしと認める。

議第27号については、原案どおり可決することに決する。

<協 議>

協議第7号 沼津市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について

子育て支援課長 今年から、幼稚園事務について補助執行として、子育て支援課に移ったため説明をする。

(子育て支援課長 資料に基づき説明)

久松委員長 それでは、説明が終わったが、本件に対するご意見、ご質問等はいかがか。

三好委員 大平幼稚園と戸田幼稚園の2園において、保育料が異なる世帯ごとの区分はどのような割合なのか。

子育て支援課長 平成27年4月現在の大平と戸田の園児数は大平が41人、戸田が19人、全体で60人である。平成26年度の実績では、生活保護世帯は0、所得割の世帯は1人、そのほかは全て第3の区分である。

三好委員 国の徴収基準額が6,300円とのことであるが、東部の近隣の各市町の状況はいかがか。

子育て支援課長 これは、それぞれである。国の徴収基準というのは出るが、これを限度として、各市町でこれでは高いから各市町の負担で、3割減や4割減にするなど、各市町の施策で決まっている。近隣では、沼津市と同じ形態をとっているのが、清水町。清水町は今まで5,500円であったため、0円、3,000円、5,500円となっている。長泉町は、国と同じ5階層に分け、最後のランクが沼津や清水町よりも若干高い。

三好委員 5階層というのは、所得基準でランクを分けているのか。

子育て支援課長 市県民税の金額で分けており、国は5階層に分けているが、階層が少ないと、一気に金額が上がってしまうため、静岡市や富士市などは、国の3割減程度で階層を細分化している。

三好委員 他市町、特に長泉町などは、子どもに対して非常に手厚いとよく聞く。背景には財政の問題もあるので出来ることと出来ないことなどはあると思うが、市として考えることも必要かと思う。6,300円が高いというような反応はあるのか。

子育て支援課長 子育て支援策については、長泉町は良いが沼津は薄いなどと言われるが、今回の保育料の改訂については、長泉の3つの料金階層は高く、9,600円12,300円、15,400円となっている。ただし、長泉は、これだけ高くするため、サービスの充実を考えている。今までの延長保育の時間をさらに2時間延長したり、建物を新しくしたりするなどサービスを向上しなければ理解を得ることは難しい。沼津市の戸田と大平は残念ながら今までとおりのため、今までの徴収金額を頭打ちというように考えている。

また、幼稚園入園幼児の第1子、第2子、第3子で徴収金額が違うが、小学校3年までに、姉や兄がいる場合は、その子を第1子とすることとしている。しかし、長泉は、扶養にしている子どもを第何子という対象にしているため、小学1年～3年だけでなく、中学、高校に兄弟がいれば幼稚園入園幼児はその子から1、2、3で第何子となる方策でやっているため、金額を見ると、沼津より高く設定しているとなるが、試行錯誤をし、金額やサービスに配慮している。

三好委員 第何子というのは、原則、幼稚園に入園している児童だけのことか。

子育て支援課長 そうである。保育園は、保育園に入園している児童だけで第何子とするが、幼稚園は小学校3年までに兄弟が居れば、その児童を含めるとしているため、多少は緩和されている。

三好委員 子どもがたくさんいれば安くなるということかとか思ったが。3人目の子どもであれば、年が離れていても、保育料は安くなるものかと思った。

子育て支援課長 子どもが多ければ安くなるということは言えるが、その対象をどこから見るかということである。

三好委員 単純に、制限なしで、3人以上子どもがいれば安くなれば良い。

細沼委員 これは、幼稚園の保育料ということだが、保育所の保育料とは、だいぶ違うと思う。

子育て支援課長 まず、保育する時間が違う。幼稚園も保育所も国が保育料の基準を示す。設定自体が違う。保育所は今までも応能負担であった。沼津の場合は、国の基準が示されると、全体で30%減額した金額で設定している。ここで、幼稚園も応能負担となったため、応能負担という面では、足並みが揃った。

細沼委員 幼稚園と保育所の金額の差は、主に、時間の差なのか。

子育て支援課長 保育する時間の差が、大きいと思う。

久松委員長 ご意見も尽きたので、協議第7号については原案のとおり、議案とすることによいか。

各委員 異議なし。

久松委員長 異議ないようなので、協議第7号は議案とすることによって可決する。

協議第8号 平成26年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定について

(教育次長 資料に基づき説明)

久松委員長 それでは、説明が終わったが、本件に対するご意見、ご質問等はいかがか。

三好委員 歳入について、施設等の利用料等の収入率が84.7%となっているが、これは例年、予算に対する決算額はこのくらいか。最近、施設の利用が減っているなど聞くと、予算の歳入見込みが甘かったからなのか、など状況を教えて欲しい。

スポーツ振興課長 全体のことでないが、講座関係において、前年は60%程度であったが、本年は80%に上げている。それは、内容を精査したので、予算に対して執行率が上がっている。

教育次長 例年の状況を勘案しながら、予算を見込んでいるため、見込と大幅に乖離したなどはなかったと感じている。

三好委員 歳出についてだが、全体の不用額が2億9千6百万程度あるが、教育総務費

の学校指導費に、支援員を増やす余裕があるのではないかと、数字だけ見ると感じるが、どうか。今年度の不用額が特別多いのかは不明だが、うまく予算立てが出来れば、支援員の時間も人員を大幅に増やすことができると感じる。

教育次長 学校指導費の中にはいろいろな事業がある。例えば契約や入札をかけるものなどもあり、不用額を、いきいきスタッフや支援員の費用に充てたいのは、良くわかるが、費目が異なる。費目が違う中でいろいろな事業の不用額が少しずつ積み重なってこの額となった。

これは、決算額であり、この不用額を充てることは、あらかじめ不用額がわかっているならば可能かもしれないが、支援員等の人数については、当初の予算の人数で行うこととなる。

三好委員 単年度で、これをすぐに増やすのは難しいことはわかるが、これらをふまえて予算を組むことが可能ではないかと感じる。

教育次長 今年度の決算額を踏まえて、今後の予算を組む時に、総枠の中で、この部分を減額し、違う部分は増額をするなどということは考えられるかもしれない。しかし、その単年だけが特別不用額が多くなったなど、例年と違う場合であれば、翌年の予算に反映させることなどは難しいと思う。

三好委員 おっしゃることは良くわかるが、努力次第でなんとかなるのではないかと感じる。仕組みだから仕方ないのであれば、仕組みは変えればいいことなので、他目間の流用ができないのであれば、出来るようにすればいいので、そういうことがとても大切だと思う。

スポーツ振興課長 不用額は、実際は歳入に対しての不用額になる。確実に歳入があれば、歳出の不用額を使うことができるかもしれないが、歳入額により、実際の不用額は落ちるため、不用額と一般財源が同じではないので、余ったから使えるという考え方ではない。しかし、予備費があるため、本当に必要であれば、そこは年度途中でも協議ができ執行することも考えられる。余るから使えるということではできず、必要であれば、補正や正当な方法で、議会で承認を得て使うことができる。

三好委員 余ったから執行するという意味ではなく、予定をするくらいの余裕ができるのではないかと感じた。

支援員等は、年度当初から決まって予定して出る予算であるから、余ったからそこに充てるということではできないことはわかる。初めから予定をして必ず出る予算ということなので、はじめから予定することができるのではないかと感じる。

土屋委員 三好委員のおっしゃることは良くわかる。支援員の方の時間や人数が少ないため、先日の総合教育会議で市長にも話をしたが、支援員の人数等を増やすために、大枠は変えないで、他を減らすのでは困るため、大枠を増やしていただきたいと感じる。

細沼委員 毎年、この資料と説明をいただいているが、事務局では、単年度だけではなく何年かを継続して精査し、トータルで充実した予算となるように、やってい

るのか。

教育次長 もちろんである。

細沼委員 学校管理課では、不用額があるが、老朽化した校舎の計画的な改修や営繕が必要になっているとのことだが、そこはいかがか。

教育次長 不用額は、入札額が見込みを下回ったためである。

細沼委員 安く済んだということか。

教育次長 教育委員会は、事務点検評価など、事業を見直す機会が、他の部局よりも多い。

三好委員 どこも同じかと思うが、行政は縦割りのため、横のつながりで予算をやり取りすることはないのか。

教育次長 難しいことである。

三好委員 縦割りの弊害を感じる。必要な課に、必要な予算を充てるという調整ができると良いと感じる。

教育次長 予算を組む時に、事業の計画を立てる。その計画の中で、どの事業にどの程度の予算を組むかを教育委員会内では、教育長、次長でヒアリングを行いバランスよくなるように見ている。

三好委員 教育委員会だけで動ける問題ではないことはわかっているが、市全体として、風通し良くする方向にしていきたい。

久松委員長 ご意見も尽きたので、協議第8号については原案のとおり、議案とすることによいか。

各委員 異議なし。

久松委員長 異議ないようなので、協議第8号は議案とすることで可決する。

<報告>

1) 第4回静岡県東部ふれあい体験塾の実施報告について

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

久松委員長 本件に対する、ご質問、ご意見等はいかがか。

三好委員 体験塾が終わった後に、参加した生徒から感想文等をいただいているのか。

生涯学習課長 終了後に、文集作りをやっている。その中で、1人1人に体験塾が終わって感じたことを書いていただき、それを文集にし配布している。

三好委員 自由に感想を書いてもらっているのか。

生涯学習課長 そうである。A4用紙1枚分に、印象に残ったことや感想を自由に書いてもらい、冊子で残している。

久松委員長 それでは、本件は報告を受けたということでご了承願う。

2) 「ビブリアバトル中高生大会in沼津2015」の開催について

(図書館事務長 資料に基づき説明)

久松委員長 本件に対する、ご質問、ご意見等はいかがか。

久松委員長 発表者は決まっているのか。

図書館事務長 現在募集中である。

三好委員 今まで、場所を変えて何回もやってきているのか。

図書館事務長 図書館では、昨年1回、このビブリオの会を開催している。その際に、図書館は会場だけであった。今年は、先生がいらっしゃり、一緒にやりましょうということになった。

三好委員 ビブリオの会は、発足後何年か経過しているのか。

図書館事務長 ビブリオバトルは2007年に発足している。京都の大学の研究会が作ったもので、発足してから日が浅いものである。

三好委員 とてもよい取り組みである。

教育長 本日配布した静岡新聞に静浦小中一貫学校でも実施したことを紹介している。

久松委員長 それでは、他にないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

3) 高尾山古墳保存と都市計画道路（沼津南一色線）整備の両立に関する協議会について
（教育次長 資料に基づき説明）

久松委員長 本件に対する、ご質問、ご意見等はいかがか。

久松委員長 この協議会は公開していくのか。

教育次長 この協議会は公開する。

細沼委員 古墳の保存と、道路の両立ということの協議会だが、両立を目指すということか。

教育次長 あくまでも、両立に関する協議会のため、市長も言うように、古墳の保存と両立を目指すものである。

これ以外の方法があるかもしれないとの考えで、大所高所からいろいろな方のご意見をいただくことになると思う。

久松委員長 協議会の内容等を、この場でご報告いただくか、内容を見ることができるのか。

教育次長 公開のため、可能である。教育委員会でも報告をさせていただく。

久松委員長 報告等をお願いしたい。

久松委員長 それでは、他にないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

久松委員長 そのほかになにあるか。特にないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後2時50分 閉会。